



# 2021年度春 地方都市インターンシップ

【新潟県編】

協力企業様

株式会社アイテック様 アルプスアルパイン株式会社様  
株式会社イートラスト様 ヨネックス株式会社様



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 地方インターンシップ第二弾【新潟県】スタート！！

2022年2月12日（土）から10日間にわたる新潟県地方都市インターンシップがオンラインにて開催されました。当初、現地での対面インターンシップの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から急遽オンラインに切り替わりました。企業の皆様にもご協力をいただき、急な対応にも応じてくださり大変感謝しております。

本インターンシップは、一極集中化する東京都ではなく、地方都市の良さを見つけ、今後の就職活動において1ターン就職を含めて新たな価値観で臨めるような機会の提供を目指したプログラムです。コロナ禍で働き方に変化が見え始めた昨今、地方から遠隔での仕事をする企業も見え始めてきました。地方企業の魅力、地方都市で生活する利点などを本インターンシップを通じて学習していきたいと思えます。

今回、新潟県からは「株式会社アイテック」様「アルプスアルパイン株式会社」様「株式会社イートラスト」様「ヨネックス株式会社」様の4社にご協力をいただきました。

### 【株式会社アイテック様】

食品スーパーマーケットに必要なあらゆる業務についてシステム開発・導入と運用保守を行う。

### 【アルプスアルパイン株式会社様】

電子部品と車載情報機器の研究・開発・製造・販売を行う。

### 【株式会社イートラスト様】

電気・通信事業を中心とした工事施工やシステム構築などの事業を手掛ける。

### 【ヨネックス株式会社様】

スポーツ用品の製造および販売、ゴルフ場の運営等を行う。

## 2月12日（土）1日目：事前学習

学部、学科、学年が異なる学生達がグループを作り、企業研修を行う長岡市インターンシップが始まりました。多様な考えを持った人たちと交流することで新たな発見があります。お互い建設的な意見が交わるように今日はアイスブレイキングを行いました。また、インターンシップに参加する際のマナーについても学習しました。

## 参加者の感想

「職業体験を行い、自分が働いている姿をしっかりとイメージし、将来のキャリアに役立てる」これがインターンシップの大きな意義です。今回は職場を見ることができません。しかし、オンライン上の学生の人数が多く、他のインターンシップ経験者と交流することで、意識の高さ、考えの強さを知り、自分のモチベーションも上がりました。（社会学部1年 BAI YOUHONG）

今日は、異なるクラスメートの人たちとコミュニケーションをとりました。全員親切だったので、私の不安が消えていきました。話題は「最近起こったこと」で、すぐにみんなと仲良くなりました。好みや専門分野は人それぞれで、専攻も異なります。そのため、さまざまな視点から問題を見ることができ、とてもやりがいのあるインターンシップになると思います。（社会学部1年 林 暁虎）

ほとんどの人が初対面のため、最初はアイスブレイクがありました。自分と同じ企業に所属している人は一人しか出会わなかったですが、様々な学部・学年の人と話せて、情報交換もできました。同じ大学通っているのに、みなさんが把握している情報がそれぞれ違うので、改めて情報交換の重要性を感じました。（国際観光学部3年 HO WING KEI）

日本の就職の流れとやるべきことを紹介され、日本の就活についてより理解できました。インターンシップの意義も理解できました。日本企業に就職したいなら、事前に色々な活動に参加しなければなりません。例えば、インターンシップに参加すると、業界と会社の雰囲気がすぐわかります。さらに、日本の就職にもっと有利になります。（経済学部3年 唐 浩皓）

本日は長岡市インターンシップに参加する留学生を対象に、事前研修を行いました。今回事前研修を行う理由は先にみんなをお互いに知り合せて、二週間のインターンシップを円滑に進めるためだと思います。（総合情報学部2年 LIU SHUO）



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 2月14日 (月) 2日目：日本の企業文化+ビジネスマナー+メールの書き方

日本での生活は、就活の準備ができていないと、面接で不利になります。また、日本の企業文化やビジネスマナーについても、事前に勉強しておくことが大切です。今回のインターンシップでは、日本の企業文化やビジネスマナーについて詳しく学びました。また、メールの書き方についても学びました。今回のインターンシップは、とても有意義でした。ありがとうございました。

### 参加者の感想

本日は、主として海外に就活する学生にとって、就職活動の準備ができていないと、面接で不利になります。また、日本の企業文化やビジネスマナーについても、事前に勉強しておくことが大切です。今回のインターンシップでは、日本の企業文化やビジネスマナーについて詳しく学びました。また、メールの書き方についても学びました。今回のインターンシップは、とても有意義でした。ありがとうございました。(経済学部 3年 GAO MING)

就職活動の準備ができていないと、面接で不利になります。また、日本の企業文化やビジネスマナーについても、事前に勉強しておくことが大切です。今回のインターンシップでは、日本の企業文化やビジネスマナーについて詳しく学びました。また、メールの書き方についても学びました。今回のインターンシップは、とても有意義でした。ありがとうございました。(総合情報学部 2年 KIM GEONHO)

今日、私は日本での就職活動の準備ができていないと、面接で不利になります。また、日本の企業文化やビジネスマナーについても、事前に勉強しておくことが大切です。今回のインターンシップでは、日本の企業文化やビジネスマナーについて詳しく学びました。また、メールの書き方についても学びました。今回のインターンシップは、とても有意義でした。ありがとうございました。(国際学研究所 1年 NGUYEN THI THANH HIEN)

大学4年から就職するのが母国では一般的です。しかし、留学生である私たちは、これまでの習慣のままでは、日本で就職できないかもしれません。3年生は卒業の準備や就職イベントへの参加によって、とても重要でストレスの多い1年であることを本日で知ることになりました。(経営学部 2年 屈 凱鳴)

私は日本の就職と中国の就職の違い、時間の流れにいろいろな違いがあることを知り、面接の注意事項、メールの書き方など、面接の準備ができていないと、面接で不利になります。また、日本の企業文化やビジネスマナーについても、事前に勉強しておくことが大切です。今回のインターンシップでは、日本の企業文化やビジネスマナーについて詳しく学びました。また、メールの書き方についても学びました。今回のインターンシップは、とても有意義でした。ありがとうございました。(国際観光研究科 1年 孫 宇朦)

## 2月15日 (火) 3日目：企業交流会

本日、企業様と学生の交流会が行われました。長岡市について、全体で学習した後、各グループに分かれて企業様と対面しました。長岡市は外国人雇用政策に積極的で多くの学生が関心を持ち、長岡市という街に興味を持ってつよようになりました。また、企業様との交流会では、始めは恥ずかしくてなかなか話すことができませんでしたが、徐々に学生らしさを取り戻し、長岡市について、仕事について積極的に質問していました。

### 参加者の感想

本日は、長岡市役所様から、市内の環境、文化、外国人雇用政策について詳しく紹介していただきました。とても印象に残ったのは、長岡市内の外国人労働者の比率は、東京などの大都市よりは高くないですが、本当に外国人の一人ひとりの生活まで考慮してくれていて、感動しました。私は将来的に就職ではなくても、旅行の形でぜひ一回長岡市に行ってみたいと思います。(社会学部 1年程 成)

まず、先生は就職活動に関するさまざまなデータを見せてくれました。新卒採用に全体的な流れをメインにしましたが、日本人学生と外国人学生の就活を始める時期はかなり大きな差があることに改めて驚きました。自分の現状を比べてみると、少し手遅れではないかと感じています。しかも、先生から共有していただいた先輩の就職経験談では、先輩が万全な準備をしたおかげで無事に内定を取得できていました。私は少し急がないといけないと思います。特に、コロナ時代では、全体的な時間を前倒しの傾向が見られますから、今からでもいいと考えながら、今回のインターンシップに参加して良かったともうすでに感じています。(法学部 3年 李 涵)

本日の説明を聞くと長岡市は製造業がメイン産業になっており、そのほかには錦鯉の養殖や花火大会が有名らしいです。説明会で印象に残ったのは長岡市のライフスタイルや働き方改革です。東京だとお給料の約半分が家賃として取られますが、長岡市では東京より安い賃金で広いお部屋借りられるのがとても魅力的だと思います。そればかりでなく、長岡市の働き方改革がリモートワークを促進し、長岡市にいながら東京の会社の仕事ができるのは時代の流れについていけている考え方だと思います。本日の話を聞き、もし長岡市で仕事の機会があれば、ぜひチャレンジしてみたいです。(国際観光学部 3年 HO WING KEI)

工場にも様々な部門があり、それぞれの役割を果たしているとわかりました。ヨネックスの工場では機械に全部任せるとはならず、生産が終了したあと、社員の方々がもう一度検査しているのが不思議だと思いました。しかし、「これはヨネックスが世界トップに入っている理由だ」と思います。(国際学部 2年 金 是瑛)



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 2月16日（水）4日目：企業説明会＋課題の提示

いよいよ課題提示です。アルプスアルパイン様からは「企業の知名度向上」イートラスト様からは「河川監視カメラや危機管理型水位計を海外へ販売するための販売計画」YONEX様からは「グローバル採用を進めるための新潟工場アピール方法」アイテック様からは「計算プログラムの作成」という課題が出されました。企業様は時間外にも学生の質問に対応してくださり、中間発表には良いものを提示できそうです。

### 参加者の感想

今日企業様から課題をいただいて課題の難しさを感じました。そこで、企業担当者様が私たちの顔をみて「その気持ちがわかる」というような面持ちで資料以外の情報も説明してくれました。企業の概要、イートラスト様の仕事の流れを聞いて私は会社の一員として現場で仕事を体験できたように実感しました。(社会学部1年 BAI YOUHONG)

企業様から課題をいただきました。「アルプスアルパイン社の知名度を高める」です。今のアルプスアルパイン社は規模が非常に大きいですが、知名度はそれほど高くありません、これはB to B企業であることが理由かもしれません。企業様の考えは、「この会社は人々の日常生活に欠かせないものであり、実はずっとみんなの生活を支えてきました。」というポイントであり、私はこのことを人々に伝えたいです。(社会学部1年 林 暁虎)

今日は株式会社ヨネックス様で働いている5名の社員の方々から、それぞれの勤務内容を紹介いただきました。開発から商品を作り出すまで、数十回のテストと、いろんな業種の人々が一緒に働いている、緊密に繋がっている印象が強くなりました。特に、新潟工場で唯一の外国人社員の方から、仕事の楽しさや、やりがいがある仕事をしていると強く感じられました。この優秀な方々の貴重なお話を聞いて、私は本当にできるかわからないけど、やってみようという気持ちになりました。(経済学部2年 金 昭廷)

今日は企業様から企業情報についてもっと詳しく説明していただきました。企業の部門から、各部門の仕事内容までも詳しく紹介していただきました。特に、今IT業界でよくやっている「ウォーターフォール型開発」というシステム開発のやり方を紹介していただき、実際にIT業界で何をやっているかを勉強できました。(経済学部3年 唐 浩皓)

今日は主に企業説明と課題提示のインターンシップでした。最初は企業様から株式会社アイテック様について色々紹介していただきました。その中、親会社アクシアルリティリング様について興味を持つようになりました。100企業の中、売上高ランキング13位であることと経常利益率ランキング2位であることがものすごく優秀な会社だと思いました。今回インターンシップに参加して良かったと思います。(総合情報学部2年 LIU SHUO)

## 2月17日（木）5日目：企業様との交流＋グループワーク

各々のグループが課題の提示を受けて、いざ、課題解決に進みます。しかし、課題を解決するには情報不足。必要な情報を企業様よりいただき、資料作成に移ります。「自分たちのアイデアがもしかしたら採用されるかも」そんな気持ちで、社員になったつもりでグループ活動に臨んでいます。課題の1つでもある「外国人採用」。長岡市で就職する外国人が少ないのは、なぜか。仲間同士、インタビューすることで気づくこともありました。

### 参加者の感想

本日よりプログラミングをゴリゴリやっていくことになります。まずは、昨日作っておいた要件定義から、詳細設計、機能設計に抜け漏れがないかを企業担当者様にチェックしていただき、その後、担当者様の監督の下で設計とコーディングを始めました。機械的な作業で、特筆に値するところが多くはありませんが、そもそも本日は企業様のご臨席になる日ではないにも関わらず、3時間に渡って指導して下さることに感謝できません。また、本番の制作のみならず、Microsoft Accessの細かい操作まで指導を受けました。Microsoft Accessの制作については、まずテキストボックスやボタンなど基本的な枠を作り、その後、ここの枠に条件を付けて動作を与えていく工程になります。困難な操作ではありませんが、いかにサンプルプログラムと同様な枠を作るか結構手間がかかりました。(経済学部3年 GAO MING)

参加者たちの専攻が異なる状況で一つの課題に対して会議をする時、皆が望む解決法の方向が違うということが分かりました。多様性の面でのメリットは明らかに存在し、一つ一つの提案をしなければならぬ立場から、多様な意見を一つにまとめることが難しいことが分かりました。皆の意見を一つにまとめることにどのような方法があるか悩むようになりました。そして、グループのメンバーの性向に合わせて、会議をどのように進めていくべきか考えるようになりました。例えば、意見を出しながら整理していく傾向を持つグループ員がいる一方、全ての整理を終えて意見を出す傾向を持つグループ員がいます。そうすると会議の進行状況にそぐわない意見が出るなど、問題にさからっていく状況が起こるからです。(総合情報学部2年 KIM GEONHO)

今日は企業様から出された課題についてグループワークを行っていました。最初はどこから始めればいいのかよくわかりませんでした。手元にある資料と情報をどう活かして課題に取り組みればいいのかを今日のインターンシップで学びました。そして、アピール方法について、他人を納得させる前にまず自分たちが納得しなければいけないので、それなりに工夫する必要があると分かりました。(国際学部2年 金 是瑛)



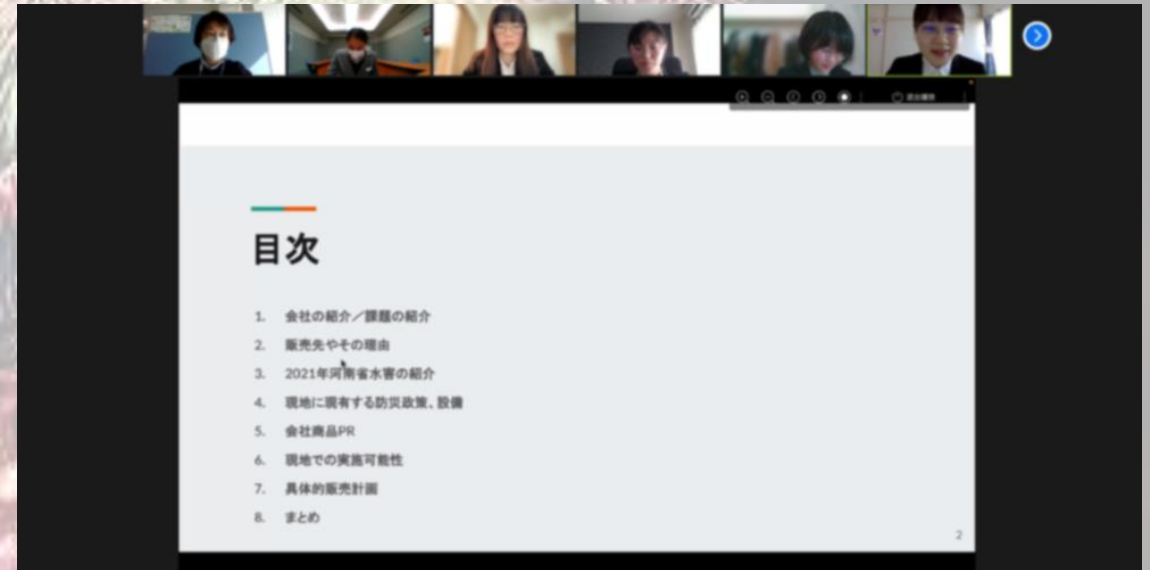
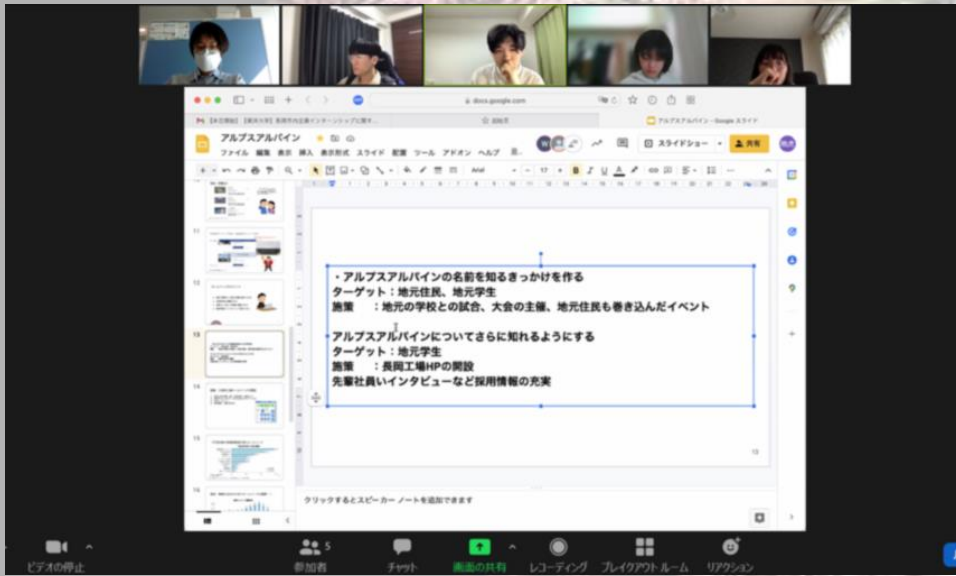
# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 2月18日 (金) 6日目:

企業様から課題を提示されてから3日目。各グループに分かれて、活動を進めています。早速アンケート用紙を作成し、東洋大学の留学生へアンケート依頼を行ったり、先行研究を読み必要なデータを集めたり、インターンシップの活動時間以外でもZOOMで集まり協力しています。来週はいよいよ中間報告会です。企業様や先生、他グループの意見をいただき、さらに良い提案にしていきたいと思います。

## 2月21日 (月) 7日目: 中間報告

本日は中間報告会を行いました。土日も多くの時間を調査、資料作成に費やしました。その甲斐もあり、計画に基づき、順調な進捗状況を報告することができました。報告の後、企業様から個別にアドバイスもいただき、最終報告会に向けてまた方向性が明確に見えてきました。システム開発をしているグループもとても専門的なことまで事細かく教えていただき、その高度な発表には他のグループも驚かされました。



## 参加者の感想

昨日、私たちのグループは課題のターゲット、目標、提案を決定しました。しかし、話し合いを続けると、私たちの提案には多くの欠陥があることがわかりました。情報不足で大変でした。やっぱり結論を出すのは早すぎました。先生のアドバイスのおかげで、私たちは現在欠けているものに気づきました。私たちの現在の提案の問題は、それが非現実的であるということです。そこで、新しい実践的な提案を立てることにしました。(国際学研究科 1年 NGUYEN THI THANH HIEN)

資料を探すのは一番大変でした。自分のチームが取り組む課題は、企業様の商品の「具体的海外販売計画」であり、私たちが設定したターゲット販売先は中国で、チームメンバー全員が中国出身で中国語は読めますが、政府に関連のある一部の資料が公開されていないことで、資料探しにかなり時間がかかりました。(社会学部 1年 程 成)

## 参加者の感想

今日は中間報告でした。(株) イートラストの担当者様は、河南省を選んだ理由や河南省の洪水についての記述を、最終的な発表内容では減らすべきだと考えていらっっしゃいました。機械売買のプログラムの内容を追加すべきと考えていたからです。今回のテーマは河南省の洪水ではなく、機械の販売計画なので、私も同感です。(経営学部 2年 屈 凱鳴)

新規事業の企画・立案・プレゼンという課題は、すべてが新たな経験であり、ワクワクする毎日でした。メンバー3人でスタートしたので、初日はうまく意見や作業が噛み合わず、停滞する場面もありました。2日目、徐々にお互いがわかってきた時点で、プレゼン内容も社員の方々から高評価を頂くことができました。メンバーの個性や得意分野をお互いに知ることが、チームで仕事を進める上での基礎になることを実感できました。(国際観光研究科 1年 孫 宇朦)



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 2月22日 (火) 8日目：グループワーク (発表資料作成)

中間発表を経て、最終発表に向けた資料作りの日でした。グループの中で役割分担をして、チームで資料作成に臨んでいます。調べることが多く、この短期間で出来上がるか不安が残りますが、責任感から与えられた役割を一生懸命に果たしています。最初はよそよそしかったグループのメンバーも「仲間」という意識に変わってきたようなグループワークでした。

### 参加者の感想

まず、企業担当者様が実際に業務する際に、システムなどどのようなミスを起こしたのか、また、その時どう対処したのかについて、教えていただきました。例えば、一番ややこしいことはシステムがうまく作動できない、利用する相手も詳細なミスを伝えない場合には、問題を絞って処理することできません。その時技術者関係の人は現地に行って処理するしかないです。相手が詳しく伝えられれば、直接電話で対応できるとおっしゃっていました。(総合情報学部 2年 LIU SHUO)

今日は黄先生に詳しくコメントを教えていただき、本当にありがたいです。なぜなら、いくつか疑問点が解消したからです。中間発表する前で、私たちのグループは役割を分担していたため、内容ごとに分けて調べたり、まとめたりしたため、先入観が入っていました。また、自分の要約能力が欠如していることが改めて自己認識でき、日本語のまとめ能力がまだまだでこのような練習が必要だと思いました。今年のインターンシップは去年に比べたら、自分が成長できていると感じました。(社会学部 1年 BAI YOUHONG)

本日は昨日の続きでPPTを修正しました。私たちのグループでは提案が一個増えたので、ステップ1とステップ2に分かれています。ステップ1は地元の高校とスポーツ交流会を行うことで、アルプスアルパインの社員の方々の雰囲気や会社名を知ってもらうのが目的です。ステップ2はすでにアルプスアルパインの社名を知っている人向けに長岡工場の取り組みや採用情報などを記載することによって、より詳しく知ってもらうのが目的です。(国際観光学部 3年 HO WING KEI)

昨日のコメントとアドバイスから、最初にやり方を直すことにしました。アンケートの調査概要や、アピールを具体的にするため、目次からもう一度書き直しました。企業様について調べた結果、新潟工場の知名度の低さや、地方都市にもかかわらずいきたいという意欲を出せるためにどんなことがあるのか考えました。(経済学部 2年 金 昭廷)

## 2月24日 (木) 9日目：最終発表日

本日は、最終発表の日でした。順調に発表資料を作れたグループ。途中で1からやり直したグループもありましたが、出来上がりはどのグループもとても素晴らしい提案、発表に仕上がりました。企業様からもお褒めの言葉をいただき、また学生同士もお互いの努力を称え合いました。コロナによって学生同士の交流も少なくなりましたが、これほど仲間意識が持てたのは、一緒に苦勞を乗り越えたチームだったからだと思います。

### 参加者の感想

思った通りに発表ができました。他のグループの発表もとても勉強になりました。みなさんの発表は中間報告と比べると、よりわかりやすく、より具体的に提案ができていました。素晴らしい発表で、自分の次の発表にも生かしたいし、生かすことができると思います。また、各企業様からいただいたあたたかいコメントや助言に、感動しました。今回のインターンシップは本当にたくさん勉強できて、よかったです。(法学部 3年 李 涵)

発表後、企業担当者の方々から、厚くお褒めのお言葉をいただきまして、また、これからの活動まで励ましてくださり、感謝の気持ちで一杯です。大したことを遂げたわけでもなく、グループ別のアイスブレイクで交流を深める時も、言葉を惜しまず褒め称えてくださりまして恐縮至極でした。今回のインターンシップで、これまで漠然としか考えていなかった職種についても強く意識するようになり、将来のキャリアを考える上で大変貴重な経験となりました。(経済学部 3年 GAO MING)

本日は企業インターンシップの最終発表であり、私たちグループは午前8時から練習を開始しました。非常に緊張しましたが、プロジェクトのプレゼンテーションは無事に完了しました。ここ数日、チームメンバーにとっても感謝していました。みんな真面目で勤勉です。今日の成果が達成されたのは、まさにみんなの協力のおかげです。(国際観光研究科 1年 孫 宇朦)

今日の最終発表は無事にできたと思います。今日のために昨日ほぼ1日かけて、グループメンバーとスライドの作成と発表の練習をしていました。今回の最終発表のおかげで私たちは物事をより深く考えるようになりました。これは今回のインターンシップで身につけたものだと思います。それに、いい仲間ができて本当に嬉しいです。初めてのインターンシップで色々なものを勉強できました。これからも積極的にインターンシップに参加したいと思います。(国際学部 2年 金 是瑛)



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

## 2月25日（金）10日目：事後研修

今日は、良い意味で表情が緩んでいるのがよくわかりました。緊張から解放された安堵、仕事をやり遂げた達成感、これらが顔からにじみ出ていました。「責任感を持って自分の役割を果たす」日本の「仕事」を体験した10日間で終わります。しかし、学生たちの就職活動はこれからです。このインターンシップから学んだことを今後に生かしましょう。



2022年02月  
新潟県長岡市  
株式会社アイテック  
インターンシップ最終発表

東洋大学総合情報学部総合情報学科 2年 Liu Qiao (リュウセキ)  
東洋大学経済学部国際経済学科 3年 Tang Haohao (トウコウコウ)  
東洋大学経済学部国際経済学科 3年 Gao Ming (コウメイ)

2022-02-21日曜日  
https://www.itec.jp/

「河川監視カメラ」「危機管理型水位計」  
海外販売計画

YONEXUS x TOYO UNIVERSITY

東洋大学：  
ソン ウマン (孫宇暉) 国際観光研究科 国際観光専攻修士1年  
クツ カイオウ (葛川暉) 経営学部 会計ファイナンス学科2年  
ハク ユウコウ (柏友航) 社会学部 社会学科1年  
テイ セイ (穂成) 社会学部 国際社会学科1年

ALPSALPINE  
Perfecting the Art of Electronics

長岡工場の知名度向上提案

東洋大学

国際学研究科 グローバルイノベーション専攻 修士1年 Nguyen Thi Thanh Hien (グエンティ タン ヒエン)  
国際観光学部 国際観光学科 3年 HO WING KEI (ホ ウィン ケイ)  
総合情報学部 総合情報学科 2年 KIMGEOONHO (キムゴンホ)  
社会学部 国際社会学科 1年 林 曉虎 (リンショウコ)

ヨネックス株式会社  
最終発表

金 昭 金 昭 金 昭  
金 延 延 延  
金 是 是 是  
金 幸 幸 幸

キン ショウテイ  
キン シエイ  
キン リカン

経済学部 国際経済学科 2年  
国際学部 国際地域学科 2年  
法学部 法律学科 3年

## 参加者の感想

私にとって、一番難しかったのは、やはりプログラミングのところでした。実は私は最初に文系だからプログラムなんて作れない、ソースコードのことなんて知らないと思っていました。しかし実際にやってみると、そんなに難しくないと実感しました。株式会社アイテック様からプログラムのことを詳しく指導していただき、ITに関する経験が全然ない私でも今回の電卓プログラムを作成することができました。私から見ると、文系の学生でも勉強すれば、プログラミングはできると思います。今回、貴重な経験をさせていただき、将来の就職活動にも活用できると感じました。(経済学部 3年 唐 浩浩)

前回のインターンシップから「チャレンジする気持ちで参加すれば、もっと自信を持ってできる」と思い、本インターンシップに申し込みました。十日間は長いと思いましたが、想像以上時間が早く過ぎていました。それほど充実して過ごせたと感じています。今回は色々な企業様が参加され、大変貴重な経験になりました。特に、グループメンバーでの発表準備で、最終の発表で資料を最初からやり直すことに少し苦労しましたが、最後いい結果になって嬉しく思います。(経済学部 2年 金 昭廷)

私たちのチームは最初のアイデアがうまくいかなかったため、途中から全く違う方向に進むことになりました。しかし、私たちはそれでやる気を失うことなく、むしろ全員でこれからどうすべきか、PPTはどう直した方がいいのかを一緒に考えたので、うまくチームワークを発揮することができました。このインターンシップを通じて、チームワークの大切さがわかりました。(国際観光学部 3年 HO WING KEI)



# 東洋大学 オンライン・インターンシップ 新潟県編

これで10日間の地方都市インターンシップ【新潟県編】が終わりです。東京から長岡市まで新幹線で片道約1時間40分。自然が多いこの町には、日本だけでなく世界の産業を支えている企業がたくさんありました。今回のインターンシップではどのグループも高い知識や技能を要求されましたが、グループで力を合わせて企業様に素晴らしい提案をすることができました。ダイナミックな四季を感じられる新潟県に興味をそそられるインターンシップになりました。

## 参加者の感想

今回大手企業と言われる大企業様に所属させていただきました。非常に斬新な体験だと思えます。まず、課題の提示は個人的には最初から楽しみにしていました。企業様が顔合わせの日に課題を教えてください、さらに力を入れて欲しい要点も二つに絞っていただいたため、非常に助かりました。自分たちがそれなりに情報収集やコミュニケーションをとるなどの能力を磨きました。そのおかげで、いい時間をグループメンバーと過ごしました。結果的に考えてみると、企業様がどのくらい評価をいただいているかはわかりませんが、自分たちに納得できる解決策が見つかり、「きちんとまとめて発表できた」と振り返ってみると、こう思いました。(法学部3年 李 涵)

今回のインターンシップの就業体験を通じて、日本で就職する際に必要な基本的な情報を学び、とても勉強になりました。地方で就職する際に、長岡市は外国人労働者に対する支援政策が充実されていることもとても印象に残りました。3年生から始まる本番の就職活動の際は、ぜひ地方企業にも参考してみたいと思いました。(社会学部1年 程 成)

この就業体験でビジネスメールの書き方を学びました。やはり学校で使っていたものとは大きく異なることを実感しました。インターンシップの最終発表後、拡大期の販売見込み額や年間販売予定冊数について質問を受けましたが、検討不足で即答できませんでした。販売計画を立てる際には、展開時の販売冊数だけでなく、製品が安定した顧客層を獲得した後の数年間の販売冊数を見積もることが重要であることに気づかされました。(経営学部2年 屈 凱鳴)

このインターンシップから多くのことを学びました。まず、このインターンシップのおかげで、地方都市での就職の機会について学ぶことができました。日本での就職については東京のことしか考えていませんでしたが、今では新潟など他の地域でも外国人の就職の機会がたくさんあることがわかりました。また、長岡市の食文化を学ぶことができうれしかったです。さらに私はアルプスアルパインの社員の方々と直接お話をする機会をいただき、貴重なアドバイスを受けました。このインターンシップを通じて、チームワークのスキルとビジネスマナーを向上させることができました。(国際学研究所1年 NGUYEN THI THANH HIEN)

## 企業様へ

ご多用の中、東洋大学の地方都市インターンシップにご協力いただきありがとうございます。現地での実習であったはずのインターンシップではありますが、昨今の社会情勢により急遽オンライン開催をお願いするようになりました。しかし、オンライン開催にも快く引き受けてくださり大変感謝しております。

留学生にとって、知らない土地である地方へ移住することは心理的なハードルが高いです。しかし、その不安を一つひとつ拭いていただけたのが、この長岡市のインターンシップでした。長岡市の企業様をはじめ、長岡市をあげて、外国人雇用に積極的であり、実際に長岡市で働く外国籍社員の方に話を聞くことで、一度訪れてみたいという気持ちにさせられました。

今回のインターンシップでは、企業様のご参加される日程以外にも学生たちの活動に顔を出し、アドバイスをいただけたこと、また時間外にもメールなどで学生たちの質問に対応していただけたことに心より感謝いたします。学生たちの声としては、「インターンシップは大変だったけど、今度長岡市を旅行で訪れてみたい」という感想を持つ学生が増えました。街の魅力も一つですが、現地の人々との出会いによって、留学生は就職活動における選択肢を増やすことができました。ありがとうございました。

国籍、専攻、学年が違う人々とディスカッションを行う際、本人の意見を多発的に出すタイプだということがわかりました。なぜなら、正解のないディスカッションには、多様な意見の長所と短所を一つにまとめることが重要だと考えたからです。ですがさまざまな意見の一つにまとめることが非常に難しいことだということも学びました。そのため、これからは多くの資料調査を通じて現実性のある意見を具体的に提案することが正しい方向だと考えるようになりました。(総合情報学部2年 KIM GEONHO)

日本での就職について多くの情報を得ることができました。私は1年生であり、日本での就職について明確な感覚がありません。先生や企業様から学んだ情報だけではなく、すでに就職活動を始めている3年生もいますが、その状況を見ることで、将来の就職状況を事前に把握することもできます。日本の地方での生活についても。以前は日本の地方に就職することを考えていませんでしたが、今ではそれも一つの選択肢だと思います。むしろ、広くて人が少ない場所に住む方が私に適しているかもしれません。(社会学部1年 林 暁虎)